

企画展示「群馬で生まれた日本の童謡」について

今年で生誕130年を迎えた井上武士は、前橋市出身の作曲家であり、「日本の歌百選」にも選ばれている代表作「チューリップ」「うみ」などの日本音楽史上に残る数々の唱歌・童謡の作品を遺しました。

そこで県立図書館では、井上武士を中心に、同じ1974年に亡くなられた沼田市出身の童謡作詞家、林柳波（代表作：うみ、おうま）や「童謡の父」として知られる勢多郡東村（現みどり市）出身の作詞家、石原和三郎（代表作：兎と亀、うらしまたろう）らの関連資料をあつめた企画展示を実施します。

ぜひこの機会にお楽しみください。

○展示期間 令和6年11月1日（金）から令和6年12月25日（水）

○展示場所 1階 三角コーナー

※展示資料の一部です。

書名	著者	出版社	出版年
井上武士の生涯研究	塚本靖彦		1989
童謡へのお誘い	横山太郎	自由現代社	2001
図解近現代日本音楽史	田中健次	東京堂出版	2022
童謡・唱歌の里 ぐんま	ぐんまの童謡曲譜集編集委員会	群馬県教育文化事業団	1993